

【中期学校経営方針「健やかな体」達成目標】

- ①「あいさつ・後片付け・歩き方」を合言葉に、コミュニケーションを大事する学校づくりを進めていく。
- ②体力アップの取り組みを児童に継続的に投げかけ、体づくりを楽しむ生活習慣を養う。休み時間を活用して、主に運動習慣の向上をねらいや様々な動きを経験することで、運動の楽しさを味わったり、意欲・関心を高めたりする。

＜児童の体育・健康面の姿＞

- 身長は男女ともに市平均か、やや上回っている。体重においては、男女ともに市平均を上回っている。
- 体力テストの結果から、体力については、各学年男女ともほぼ全ての項目で全国、横浜市の平均を下回っている。**
 - ・特に「反復横跳び」は全ての学年において、全国平均を大きく下回る。一方50M走の記録はそこまで低くない。反復横跳びは、「すばやさ」と「タイミングの良さ」の能力、「50M走」は「すばやさ」と「力強さ」の能力に左右される。50M走の結果から「すばやさ」がそれほど低くないことが分かり、逆に「タイミングの良さ」が顕著に低いのだと考えられる。「タイミングの良さ」は、立ち幅跳びでもあり、同じく低い。また、「力強さ」の評価では、握力、上体起こし、ソフトボール投げ、立ち幅跳び、50M走が用いられるが、この5つのうち握力を除いた4つの評価が低い。**本校の傾向をまとめると、とくに「タイミングの良さ」「力強さ」に大きな課題がある。**
- 保健室の利用状況は、休み時間の擦過傷と打撲が多く、低学年の利用者が多い。校舎が3棟に渡ることもあり、給食片づけ後や昼休み終了後の気が急ぐ移動時の階段等での受傷も多い。心の健康面として不安などからくる不定愁訴で来室する児童も若干名見受けられる。
- スポーツクラブの加入率は、全学年57%以上が加入している。休み時間や放課後外遊びをする児童が少ない。
 - ・運動・スポーツの実施状況では、スポーツクラブに加入している児童は体を動かしている。加入していない児童の運動量が少なく、二極化傾向にある。
- 朝食の摂取率において、女子は81%以上が毎日欠かさず食べているが、男子は68%程度しか食べていなかった。
- 1日の睡眠時間では、1～3年生生では8時間以上の睡眠をとっている児童の割合が多いが、4年生から低下傾向が見られる。
 - ・6月に給食の残量が増える傾向がある。また、主食の残量が多い。家庭の環境が給食の残量こつなっていると考えられる。

【南瀬谷小学校 体育・健康に関する指導の目標・方針】

- ・運動の特性にふれ、その楽しさや喜びを味わうとともに、自ら積極的に運動にかかわり運動を豊かに実践することができるようにする。
- ・健康、安全について理解し、自らの健康を適切に管理する能力を育成する。
- ・自分の成長を見つめるとともに、体験を通して健康や安全の大切さに気づき、自他の生命と体を大切にすることを育成する。

教科

＜体育科での取り組み＞

- ・体育科の授業では、一人ひとりがめあてをもち、意欲的に取り組めるように、体育読本を活用した学習の流れの確認と学習の振り返りを大切にする。
- ・授業における振り返りの習慣を大切にして、自分の成長を実感したり、新たな課題を見つけたりできるように、授業の中で目標を明確に示し、ねらいに合った学習活動を取り入れる。
- ・保健の授業を計画的に行い、養護教諭や栄養士がかかわる授業も取り入れる。

他領域の取組

- ・運動会を、体育学習の発表の場とし、目標に向かって友だちと協力しながら活動できるようにする。また、目標達成や成功の喜びを味わうことができるようにする。
- ・ペア学年集会では、縦割りグループでの遊びを通して、体を動かす楽しさを味わうことができるようにする。
- ・長縄大会では、仲間との交流を深め、思いやりの心を育むことができるようにする。

課外活動

- ・夏季水泳教室（泳力別）
- ・運動委員会による「長縄大会」（学級）の取組。 ※2月下旬に練習、大会含め6日程度実施
- ・横浜市体育協会の協力による「いきいきキッズタイム」の取組。 ※年10回
- ・学校保健委員会による「保健集会」の取組。
- ・給食委員会による給食集会（1月）、給食週間（6月・1月）の取組。
- ・保健委員会を中心とした学校保健委員会（年2回）
- ・晴れた日の外遊びが増えるような取組。（担任の声かけ・職員の共通意識・竹馬・一輪車の貸し出し）
- ・外部指導者による食育・体育指導（横浜F・マリノス食育キャラバン、ベイスターズ野球教室等）

令和4年度 南瀬谷小学校 体力向上1校1実践運動

名称：「みんなで体力アップタイム」

＜ねらい＞ 休み時間の運動場・体育館を活用して、主に運動習慣の向上をねらいや様々な動きを経験することで、運動することの楽しさを味わったり、意欲・関心を高めたりする。

＜内容＞ 休み時間の体育館と運動場を学年輪番で使用し、「楽しく夢中になって」、「数多く」、「思いっきり」運動する。

＜例＞運動場「長縄」「持久走」「短縄」など

体育館「シャトル投げ」「バトン投げ」「紅白玉投げ」「ケンステップ」「ミニハードル」

※縄跳びカード、持久走周回数カードの配布

●目標 令和4年度の新体力テストによる変容調査を行う。